

2015 年度

受講者募集

北海道自治体学土曜講座

主催：北海道自治体学土曜講座実行委員会 後援：北海学園大学開発研究所・北海道自治体学会

北海道における地域づくりの担い手や自治体職員および議員の、意識変革を支え北海道自治体学の理論と実践の創造を目指して開催いたします。

1 日程・テーマ

受付開始：12:30

開催時間：13:00～17:30

※講師の方のご都合により、内容が変更になる場合があります。

回・月日	テーマ・講師・討論者	※敬称略
第1回 6月6日 (土)	貧困・格差のないまちを創るために、今、自治体でできることは 川村 雅則(北海学園大学経済学部教授) 中園 桐代(北海学園大学経済学部教授) 鈴木 一(札幌地域労組副委員長) 佐藤 宏和(北海道生活と健康を守る会連合会副会長)	
第2回 6月20日 (土)	メディアの現状—日本の民主主義 永田 浩三(元 NHK 番組ディレクター／武蔵大学メディア社会学科教授) 菅原 淳(北海道新聞編集局解説委員) 往住 嘉文(日本ジャーナリスト会議) 林 炳澤(イムピョンテク・自由学校「遊」共同代表) 森 啓(北海学園大学開発研究所特別研究員)	
第3回 7月25日 (土)	NIMBY(迷惑施設)問題は解決できるか？ 押谷 一(酪農学園大学教授) 片山 健也(ニセコ町長) 神沼公三郎(北大名誉教授) 小坂 直人(北海学園大学開発研究所長・経済学部教授)	
第4回 9月12日 (土)	自治体議会を考える ～議会・議員の権能・責務とは～ 森 啓(北海学園大学開発研究所特別研究員) 渡辺 三省(NPO 法人公共政策研究所理事) 神原 勝(北海道大学名誉教授) 久保あつこ(旭川市議会議員) 菅原 文子(南幌町議会議員) 他(交渉中)	
第5回 10月24日 (土)	男女平等社会をはばむ「壁」を越えるには ～女性の視点から～ 妙木 忍(社会学者／北海道大学留学生センター特任助教) 下郷 沙季(札幌学生ユニオン共同代表) 藤根 美穂(岩見沢市立総合病院小児科医師) 中村由美子(北海道女性農業者ネットワーク「きたひとネット」事務局長) 宮下裕美子(月形町議会議員)	

2 会場

北海学園大学34番教室(札幌市豊平区旭町4丁目1-40)

地下鉄東豊線「学園前駅」下車。3番出口直結。駐車場は利用できません。

3 参加費

全5回前納:5,000円 1回分:1,500円 (学生無料)

※会場受付でお支払いください。

4 申込み

メールでの事前申込は、^{アドレス}jichi_doyokoza2015@yahoo.co.jp へ「申込用紙請求」と書いて送ってください。用紙を添付して、返信いたします。

当日申込・参加も可

5 お問い合わせ

北海道自治体学土曜講座実行委員会(共同代表：森啓、神原勝、小坂直人、内田和浩)
メール jichi_doyokoza2015@yahoo.co.jp (事務局：北海学園大学内・斎藤、和田)

北海道自治体学土曜講座 プログラム

第1回 6月6日(土)

貧困・格差のないまちを創るために、今、自治体でできることは

経済のグローバル化、新自由主義化によって、ワーキングプアと呼ばれる非正規雇用が増加し、分配の不公平による貧困と格差は日本の社会問題となっています。

こうした中で今、働く人たちの権利が危機に晒されておりますが、自治体においても非正規雇用者や民営・委託化による低賃金労働と不安定雇用者が急増しています。また、福祉分野でも、国民全体の生活水準そのものの引き下げが「貧困の連鎖」や「子どもの貧困率の上昇」を生み深刻な影響を与えております。

本講では、各地域に広がる貧困・格差について、まずその現状・実態の全体的理解をし、同時にそれを克服する地域(労働現場、福祉現場)の新たな動きをともに学び考える中で、実践的な地域自治体理論創りの場を目指します。

第1講 基調講義と事例報告(13:00~15:10)

基調講義Ⅰ「現代日本における貧困・格差問題と、自治体の課題の論点整理」

川村雅則(北海学園大学経済学部教授)

基調講義Ⅱ「女性の貧困と社会保障 ―母子世帯を事例に―」

中囿桐代(北海学園大学経済学部教授)

事例報告「“剣”を取れ!団結の“剣”は、あなたを貧困から解放する」

鈴木 一(札幌地域労組副委員長)

第2講 パネルディスカッション(15:20~17:30)

【パネリスト】◆中囿桐代 ◆鈴木 一 ◆佐藤宏和(北海道生活と健康を守る会連合会副会長)

【司会兼パネリスト】◆川村雅則

第2回 6月20日(土)

メディアの現状と日本の民主主義

報道の自由は民主主義の基盤である。だが現状は、政権党の「メディア監視」と「番組への介入」によって、ラジオ・テレビの「政権批判番組」は萎縮し減少している。ニュース解説は論点を避け、コメンテーターは「腰の引けた言説」になっている。とりわけNHKは靱井会長が就任して「ニュース番組の原稿」にも「政治部」が修正変更するという「凄まじい事態」になっている。

メディアの役割は「政権の監視」にある。民主主義の基盤は「言論・言説の自由」である。

世界のジャーナリストから、日本のメディアは「政権監視をしていない」と指摘・批判されているのである。

現在の状況は、メディアが競い合って戦争を煽動した「満州事変の前夜」にも似てきたと言われていいる。本講座は「メディアと民主主義」の論点を「問題提起」と「会場討論」によって明らかにする。

第1講 問題提起(13:00~15:10)

「メディアの現状とNHKの変貌」永田浩三(元NHK番組ディレクター/武蔵大学メディア社会学科教授)

「特定秘密保護法とメディアの現状」菅原 淳(北海道新聞編集局解説委員)

「言論の自由とジャーナリストの責務」 往住嘉文(日本ジャーナリスト会議北海道支部)

第2講 パネルディスカッション（15：20～17：30）

【パネリスト】◆永田浩二 ◆菅原 淳 ◆住住嘉文、

◆林 炳澤(イムピョンテク・自由学校「遊」共同代表)

【司 会】◆森 啓(北海学園大学開発研究所特別研究員)

第3回 7月25日(土)

NIMBY（迷惑施設）問題は解決できるか？

ごみ処理施設、し尿処理施設、下水処理施設、火葬場など市民生活を営む上で不可欠な施設でありながら、その立地はしばしば地域住民同士の争いの種となってきた。いわゆる、NIMBY（必要性は認めるが自分の裏庭には置きたくない、というタイプの）問題である。争いは、同じ自治体の住民同士、あるいは自治体同士でも起きる。東日本大震災によって生じた大量の災害廃棄物の処理をめぐっては、地震・津波によるがれき・廃棄物の多さゆえに震災地域内のみで処理することが困難となり、結果として他地域での処理を要請することとなるが、その受入れが極めて難しい実態がある。加えて、その廃棄物が核廃棄物となってはなおさらである。今や、保育園さえ迷惑施設扱いされる時代であるが、この種の NIMBY 問題にどのような「解決」の筋道がつけられるのか？率直な議論をしてみたいと思う。

第1講 報 告（13：00～15：30）

「東日本大震災による災害廃棄物の広域処理をめぐって」押谷 一（酪農学園大学教授）

「ニセコ町におけるごみ処理場立地をめぐって」片山健也（ニセコ町長）

「核廃棄物地層処分をどう考えるか」神沼公三郎（北大名誉教授）

第2講 パネルディスカッション（15：45～17：30）

【パネリスト】◆押谷 一 ◆片山健也 ◆神沼公三郎

【司 会】◆小坂直人（北海学園大学開発研究所長・経済学部教授）

第4回 9月12日(土)

自治体議会を考える ～議会・議員の権能・責務とは～

2006年に栗山町議会が全国初となる「議会基本条例」を制定し、北海道発の議会改革は大きな波となり、全国の自治体議会にその流れが広がった。それぞれの議会で、改革・活性化に向けた努力が積み重ねられた結果、「組織としての議会改革」は一定の成果を収めている。今後は、議員個々の政策能力や事務局機能の向上といった次なる改革に向け、基本条例制定後の検証と併せ、議会・議員の権能・責務などの基本原理を再確認しながら、諸課題の整理など、論議を活発化しなければならない。

また、自治体の自主自律を無視する事態が相次ぐ情勢を踏まえ、地域の持続可能性を確立する方策に、議会がどのように主導的な役割を果たすか、市民・首長・職員との向き合い方、選挙制度や議員の成り手問題など、身近な課題にも視野を広げながら、様々な角度から議論を展開していく。

第1講 基調講演と事例報告（13：00～15：40）

基調講演「地方議会人はどうあるべきか」森 啓（北海学園大学開発研究所特別研究員）

第2講 パネルディスカッション (16:00~17:30)

テーマ「議会の権能、議員の職責」

【パネリスト】◆久保あつこ (旭川市議会議員) ◆菅原文子 (南幌町議会議員) ◆他 (交渉中)

【司会】◆神原 勝 (北海道大学名誉教授)

第5回 10月24日(土)

男女平等社会をはばむ「壁」を越えるには ~女性の視点から~

私たちは男女平等社会をめざして歴史を積み上げてきたが、未だ実現できていない。現代社会は、女性の低賃金を前提に組み立てられたシステムで動き、ときに女性対女性の軋轢をも生んでいる。

その中、人口減少社会を目前にした安倍政権は「すべての女性が輝く社会づくり」を政策の目玉に掲げた。華やかな言葉とは裏腹に、女性政策の課題は多岐にわたって複雑に絡んでいて一筋縄ではない。これまでの「男女共同参画」「少子化対策」「子育て支援」はもとより、ひとり親家庭に象徴される「子どもの貧困問題」、年金・介護等の「高齢者問題」などともつながり、様々な「壁」をつくっているからだ。

本講では、各分野で活動する5人の女性が当事者の視点で課題を掘り起こし、フロアも交えた様々な角度からの議論によって、真の男女平等社会の実現に向けて求められる自治体のあり方などを探っていく。

第1講 基調講演 (13:00~14:30)

「男女平等社会の実現にむけて - 現状と課題 -」

妙木 忍 (社会学者／北海道大学留学生センター特任助教)

第2講 パネルディスカッション (14:50~17:30)

【パネリスト】◆妙木 忍

◆下郷 沙季 (札幌学生ユニオン共同代表／北海道大学大学院産業教育専攻)

◆藤根美穂 (岩見沢市立総合病院小児科医師／岩見沢市教育委員会医療アドバイザー)

◆中村由美子 (千歳市農業委員／北海道女性農業者ネットワーク「きたひとネット」事務局長)

【司会兼パネリスト】◆宮下裕美子 (月形町議会議員)

【北海学園大学 豊平キャンパス】

地下鉄東豊線「学園前」駅にて下車。3番出口直結。
(「大通」駅より乗車5分、「さっぽろ」駅より乗車6分)

